

農業生産基盤については、太田・片無去地区における営農用水の安定供給を図るため、施設更新整備を継続するとともに、農作業の負担軽減と持続的な酪農経営推進のため、釧路太田農業協同組合が運営するコントラクター事業に用いる農業機械の導入を支援してまいります。

飼料自給率の向上策については、道営草地整備事業の継続により、農家および町営牧場における良質な粗飼料の安定確保に努めてまいります。担い手対策については、引き続き関係機関と連携し、新規就農者の誘致促進を図ってまいります。

中山間地域等直接支払事業と多面的機能支払事業については、地域に根ざした事業展開が効率的に実施できるよう、引き続き支援してまいります。

家畜防疫については、厚岸町家畜自衛防疫協議会が行う予防注射や各種検査を引き続き支援してまいります。

町営牧場については、より適正な預託牛の育成・管理を図るため、作業機械の大型化を進めるとともに、作業環境の整備、飼養管理技術の向上に取り組んでまいります。

また、夏季の舎飼頭数増加に対応したふん尿処理の充実を図るため、ふん尿処理施設更新整備の実施設計を行います。



ヒグマ被害の防除対策については、職員と預託牛の安全確保を図るため、放牧地への電気柵設置を引き続き実施してまいります。

町有林の整備については、安定した事業量の確保と林業就業者の雇用を図るとともに、持続可能な森林保全を推進するため、計画的な森林施業を進めてまいります。

私有林の整備については、厚岸町森林組合と連携し、民有林振興対策事業と森林環境譲与税を活用した補助制度を継続してまいります。

担い手対策については、引き続き、森林整備担い手対策推進事業などを支援するほか、関係機関と連携し、林業就業者の育成・確保に努めてま

います。

町民の森植樹祭については、地域ぐるみの森づくり事業として、引き続き支援してまいります。

森林資源の利用については、堆肥センターの水分調整材などに町有林施業による林地残材を活用するほか、温水プールへの木質バイオマスボイラー導入の実施設計を行います。

路網の整備については、道営事業により別寒辺牛2号線の整備を継続してまいります。

きのこ菌床センターについては、しいたけ価格の低迷によって厳しい経営環境にある生産者を支援するため、引き続き良質で安価なきのこ菌床の安定供給に努めるとともに、種菌メーカーと連携して経営の安定化に向けた適宜の情報提供を行ってまいります。

また、新規生産者を誘致するため、しいたけ収穫体験の実施のほか、地域生産者と連携を図りながら、研修受け入れ体制を構築するとともに、菌床の無償提供や生産施設用地の貸し付け等を引き続き実施してまいります。

商工業については、引き続き関係団体と連携し、原油価格・物価高騰等による事業者への影響調査を実施し、その実態把握に努め、必要に応じた経済対策を行ってまいります。中小企業の振興については、厚岸

町商工会や金融機関と連携し、融資制度や設備投資への支援制度の活用を促進するための周知を行うほか、『厚岸町中小企業振興計画』に基づく各種取り組みを進めるとともに、『特産品等開発支援制度』のさらなる利用促進を図り、ふるさと納税返礼品にも繋がる魅力ある特産品開発を支援してまいります。

観光については、『厚岸霧多布昆布森国定公園』の指定や、国内旅行、訪日外国人旅行におけるコロナ禍からの回復基調など、観光客の増加が期待できる環境が整ってきており、この好機に地域資源を活用した魅力ある観光地づくりを進めるため、『厚岸町観光振興計画』に基づき、厚岸観光協会や関係機関と連携して自然や食、歴史・文化を活用した特色ある観光事業を展開してまいります。

また、低迷する観光関連業の活性化のため、SNSでの動画広告や札幌市営地下鉄での帯広告などのプロモーションを実施するほか、町内周遊ルートマップの作成など、観光客誘客に向けた事業を実施してまいります。

さらに、第42回『全国豊かな海づくり大会』北海道大会の開催に合わせ国内へのPR活動を行うとともに、本年9月に道内で開催される体験型観光の国際イベント『アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミ